

大石田管内 開放講座～川はともだち～



1月22日、大石田管内の開放講座が行われました。

大石田町の流雪溝について役場・建設課の吉田さん、大石田地区流雪溝利用協力会連合会・副会長の伊東さんからお話を聞きました。今回の開放講座は『消流雪事業の効果を体験しよう!!』という内容で、参加者の皆さんには実際に流雪溝体験をしていただきました☆

流雪溝体験の様子

みなさん!!
お疲れさまでした(^o^)



除雪した雪を投入するために道路の両側に少し大きな水路（流雪溝）が作られて、道路や家の前から雪が消え、快適になりました!!

利用する一人一人が投雪ルールを
しっかり守り、流雪溝を上手に使いましょう!!

～参加して下さった方々の感想より～

- 雪の降る場所でもめげずに上手に雪を使い、生活の一環とする気持ちに大変感心した一日でした。
- 投雪する場所のない市町村では、流雪溝はなくてはならない施設だと痛感しました。
- 行政と住民が一体となって、豪雪を克服しつつ快適な冬を送れるよう取り組んだその努力に敬意を表します。
- 体験学習、本当にためになりました。町内会、ボランティアの協力、一人一人のルールを守ることの大切さがいかに大切か、考えさせられました。
- 流雪溝が大変大きくて、除雪する人も使用しやすいと思いました。

「施設は行政。管理・運営は住民」

国・県・町・住民の方々の協力によって大石田町の流雪溝が作り上げられました。官民一体の取り組みによって冬期間の雪の処理もラクになり、安全で快適な冬を過ごせるようになりました!!



平成21年度

川はともだち 受講会員募集

新庄河川事務所で開催している開放講座『川はともだち』は、多くの方々に川や地域の素晴らしさを知っていただき、国土交通省がどんな仕事をしているかや、河川・砂防事業に対するご意見を伺うことを目的に行っております。



☆開講期間：平成21年5月～平成22年3月（開催月の原則第3木曜・年9回程度予定）

☆開講場所：河川や砂防事業の現地、新庄河川事務所など

☆開講内容：最上川を中心とした河川や砂防の仕事、各地域の特性について、施設や現場の見学、講話を通して紹介します。

☆受講料：無料（保険料及び昼食代を除く）

☆募集人数：50名程度

☆申込期限：平成21年3月13日（金）

お申し込み・お問い合わせ先

国土交通省 新庄河川事務所

0233-22-0251（担当 総務課）

TEL・FAXでお申し込み下さい。

※ 応募多数の時はお断りする場合がございますので予めご了承願います。

※ 実施回数については変更となる場合がございますので予めご了承願います。

～川の散歩道～

雪国は雪に守られている

この冬は、今のところ雪が少ない状態で推移しています。このまま春を迎えられればと思います。

私ごとですが、多少気象に関わっているせいか冬が近くなると決まって“今年は雪が多いのかな”などと聞かれます。最近では、“基本的には暖冬傾向なので少ない確率が高いと思う”などと答えるようにしています。

先日の新聞に「雪国は雪に守られているのですよ」といった内容のコラムがあり、ハッとしました。

雪は厄介者。水資源としての役割については頭ではわかっていたものの、改めて「雪に守られている」といわれると、大事なことを見過ごしていたのではないかと心のどこかがチクリとするものがありました。自然や文化、言語、そして景観美。加えて生活や気質など守られ培われてきたように思います。雪が少ないと喜んでばかりいられない、このまま温暖化が進んで雪が少なくなったら雪国の大切なものがどんどん失われていくような気がして心配になりました。

「雪に守られている」意味を改めて考えて見たくくなりました。

渡部 記（出張所長・気象予報士）



ご意見・ご感想など
ありましたら、お気
軽にご連絡下さい

国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所 大石田出張所

〒999-4113 北村山郡大石田町大字会宿字麓の原466-2
TEL0237-35-2024 FAX0237-35-2354